

量子力学の世界

片山泰久

はじめて学ぶ人のために



BLUE BACKS



量子力学の世界

はじめて学ぶ人のために

片山泰久

B101

講談社

P760



I 身近になった量子

- コーヒーと量子力学
- 見えない世界をたたく杖
- 時は原子がきざむ
- 宇宙の果てが見える光

II 量子はこうして生まれた

- 自然は飛躍する
- 光は波でなかった
- 原子の言葉の解釈
- h が支配する世界
- ついに量子をとらえた

III 量子力学の考え方

- 粒子がどうして波であるのか
- “不確かさ”の理論
- 量子の地図
- 因果と量子力学

IV 量子は科学を結ぶ

- 電子の雲をあばく
- 雲から手が出る
- 固体のなかの海
- 新しい火の化学

V 量子は可能性を開拓する

- 未知と矛盾の狩人
- 世界と反世界
- 量子が目に見える
- 星の火と量子力学

VI 量子は何を教えたか

- 永遠の真理とは
- 量子力学にも限界がある
- 考え方のパターン
- 人間から離れ人間に帰る



定価760円(本体738円)

ISBN4-06-117701-X C0242 P760E (7)